



～地域とともにある学校をめざして～

鯹コミ

R7 年度 CS通信No.1 R7.5.1



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

今年度も、CS 通信を通して、地域学校協働活動の様子や学校運営協議会の事業を紹介していきます。担当は、社会教育推進 DC の藤田昭彦です。よろしくお願いいたします。

西海小5年生児童が種もみ散布作業を体験(4/9)



稲作の学習は、最初、田植えから始めることが多いのですが、今回は、南金沢の兼平さんのご厚意で、種もみ散布から始めることになりました。

今回の作業には、西海小担当地域学校協働活動推進員 工藤律子さんの呼びかけで、学校支援ボランティアが8名集まり、児童の活動支援を行いました。学校支援ボランティアの皆さんは、児童一人ひとりに寄り添い、一緒に作業をしました。

作業は、育苗箱に紙をしいたり、機械に土を入れたり、完成した育苗箱を運んだりする作業でした。その後、兼平さんの案内で、育苗箱を並べるビニールハウスの中に入ってみたり、これからの作業について、説明してもらったりしました。

ビニールハウスで苗が育つと次は、田植えを行います。5年生児童7名は、次の作業に期待を膨らませていました。

鯹ヶ沢中参観日で

コミュニティ・スクールの仕組みを説明(4/24)



鯹ヶ沢中学校の岩井校長先生の依頼を受け、PTA 総会前の貴重な時間をいただき、コミュニティ・スクールの仕組みについて説明させていただきました。

こどもたちの周りの複雑で困難な課題を乗り越えるためには、もはや学校の力だけでは対応できません。保護者や地域の理解と協力が、益々必要になってきます。

「学校をもっと良くしたい。」

「元気あふれる地域にしたい。」

「こどもたちががんばる明るい未来にしたい。」

というみんなの願いを実現するために、力を合わせてがんばりましょう。

説明を最後まで聞いて下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

白神の森遊山道で西海小と舞戸小6年生児童がトレッキング学習実施(4/25)



このたび、白神の森遊山道で開山式があり、開山式終了後、西海小学校と舞戸小学校6年生児童が、トレッキング学習を行いました。

今年は、例年以上の大雪で、雪の残る中でのトレッキング学習となりましたが、雪が解けたブナの木根元に咲いたキクザキイチゲやカタクリ等の植物をたくさん見つけることができました。

世界自然遺産白神山地に関する学習は、町教育委員会が進める「ふるさと学習」の5本柱の一つで、小学校から中学校まで一貫した学習を行っています。

こどもたちは、白神山地の美しさや不思議さを感じ、自然学習を満喫することができました。